音楽のよろこび

京響メンバーによる大人の音楽教室(全2回)　No.2(9)

2018. 5. 28(月)　発行文責 事務局 田中正恭

{水に住む魚は黙し、ヤギとの獣はかけまわり、空の鳥はうたう。しかし人間は、彼の中に、海の沈黙と山々のざわめきと、空の音楽をもっている。ムタグール}

今日はフルート(flute(英))、木管楽器ですが、現在では、金属、洋銀、高級なものはプラチナ、金を使ったものも、講師の中川さんは「金」を使っていらっしゃいました。(白銀、経験させてもらいましたね)。とても古い歴史をもつ楽器、幾多の名曲が、この楽器のために、つくられて来た事もよく知られていますね…。中川さんは、東京芸大を最優秀の成績で卒業され、1994年、第11回日本管打楽器コンクール3位、そして95年京響副首席フルート奏者として入団、今日まで、オーケストラはもとより、ソロや、デュオ等の演奏会でも活躍なさっています。昨年は私の還の突然のリクエストにピアノの塩見亮さん、ともども見事な演奏で応えていただいたり(アルルの女(ビゼー)でしたね)、打楽器の中山航介さん(京響首席)と現代曲を、入魂の演奏!! 私の還はシモセッタのでした。

さて今日のテーマは「音楽による旅」だそうです。私たちは、どこへ行くのでしょう。楽しみですね。今回、中川さんとともに演奏していただけるのは、ピアニストの寺嶋千弦さんです。期待しましょう。

金本さん(ヴィオラとお話) ＆ 佐竹さん(ピアノ) ありがとうございました。

2018 5/28

前回は、いかがでしたか、アンケートを設問していただくと、皆様、ほぼ御満足の様子、私も、うれしいです。金本さんは、すばらしいプレイヤーであると同時に、指導のスペシャイザー(組織者)ですね、京響の皆様に声をかけると、皆さん気持よくOK!!を言ってくださるというのも、うれしいですね。

そして昨日、ここに来ていただいた演奏の皆様が、「これまでの音楽活動を改めてふり返る良い機会になった…etc.」とおっしゃっているというのも、何か良いですね。皆さん、演奏と語り、そして話すための資料の準備、金本さん的に言えば、右脳と左脳をフル動員されていたのですね。改めて一層感謝です。「楽興」に関するお話、久しぶりに中学の音楽室にいる様な気分でした。ホームページ版に復習材料があれば、おニメも的に書き込に。よろしければ御確認を…。

ホームページにアップする?

ホームページ作ってたよね?

東海地区でこの学校の「ホームページづくりでいろいろやっている、乾ざんから、「田中さん、音楽講座のこと、アップしたいんだけど、あの音楽のよろこび」は大きすぎるし、どうしよう!?」とご相談あり、半分の大きさ(A4ななめ)でもう一枚「ホームページ用音楽のよろこび」を、書く事になり、モタモタしてなかなか、なんとかやっつけました。不特定多数の人が見るものという事で、田中の、おもいとしては、すばらしくステキな、時間である、この講座の内容を、ふんいきを、いろんな方々へ「おすそ分け」…みたいな事、皆さんと、いっしょに書いてみたいと思ってのです。スペースがなく、アンケートの、みなさまの声は、やあを得ず、今回はカット、次回はなんとかしたいと思っています。

音楽の力

N. TANAKA

ブンブン…

今日、回講座で語った本、最近とても話題にピアニスト中村紘子さんの最後のエッセイ集である、その13ページに、この秋の、韓国ソウルのNHK交響楽団の公演(指揮:沼尻竜典)でチョン・ミョンフン氏の事を取り上げる4月29日、韓国中央日報紙の引用がある。それは「ブッダは戦争を中断させられるというが、音楽はどうだろうか、音楽が粉争や怒りと闘うことができるだろうか。5/1日、午後8時、ソウルの"芸術の殿堂"コンサートホールに集まった韓国と日本の聴衆は、長い間の不和で、冷たくなった韓日関係、ほんの少しの間だけでも忘れる事ができた。二時間半ほどの音楽という短縮の中で、人間として生きてゆく悲しみと喜びに、一つになった。八年ぶりに来韓したNHK交響楽団は、ここ数年間で両国に深刻に表面化を、なかなか太い平和の旗棒で一時的にでも飛ばしてしまった…」…しかし、この大仰な「力の音楽会は…音楽にすべてのおばかたこの二つの国の感動と成功を、NHKは含め、なぜ日本マスコミは、一切報道しなかったのだろう。これも両国関係の真実であるのに。…と中村紘子さんは言うのだ。

このエッセイのタイトルは「音楽の力」、中村さんは、おそらく「力」はある。でも、それをないがしろにしたい力も働く…皆さん!? これでいいのですか!? といいたかったのだと、田中は思いました。田中は、「力」はある、それを利用するかどうかは私達と思うのですが…。

"Peace" "Peace"

一度とか三度かというのはわかりました。やはりさすがでした。去年トランペットの人が女性奏者でよくとってくれた京響に感謝ですという主旨のお話を思い出しました。大勢の人が音楽を楽しんでいるのに、ほんとうに深い世界なんだと改めて思いました。日本にもっとオーケストラがあれば、少しは解決するのかなあ…。鳥のうた、とてもよかったです!? ルーマニア民族舞曲よりという曲がとても印象的でした。

戦後のピアニストにの音楽で独特な感じがしました。この年になって、又、独り時間がもてなくなっている時、好きな曲に出会えることは、うれしいですね。いっぱい音楽を聴いて好きな曲に出会える事、望んでいます。

基本のお話からはじまって、演奏まで、本当にあっという間、心がおちつきなくなりました。開講にあたって、(金本さん)御参加いただきありがとうございました。毎回、心待ちにしております。鳥の歌…昨年からの課題(宿題)、頑張りますね。

楽しくて引き込まれました。知らなかった事ばかりです。ちがう世界の事がわかって興味深いです。生の演奏はステキです。金本さんの指がかわいかった。

次回は6/25(月) 13:30~

チェロ・violon cello(伊)

渡邊正和さん

低く、深い音色

昨年は入学式で、クァルテットと、ピアノとともなったソロ演奏、そして、チェロの歴史から、三人のチェロに関する音楽のお話(バッケリーニ、ポッパー、そしてドカダルズ)をタップリ、さて、今年はどんな…

オーディションの話、楽しく聞かせていただきましたが本当に激しいオーディションをパスされて活躍されている金本さん凄いですよ。依頼人でのコンビネーションもステキですね、後半のソナタ&コンチェルト、時間がしまるとまるでコンサートホールにいるような時間でした。ピアノとヴィオラの深みのある音に癒されました。今年も1時間のしみです。"音楽のよろこび"たのしみにしてます

音楽の理論からは「ほ~ん、難しそう」と思いましたが、金本さんの楽しい話であっという間の時間でした。またこんな演奏でいやされました。

大変楽しかったです。ヴィオラの良さがわかりました。Familyなさいさで、楽しい時間がすごせました。一年間、宜しくお願いします。

久々に楽器の話を伺いました。「へェーそうなの!?」とオーディションのお話は特に興味深い。最後の指揮者が不合格だったのは何故なのかなんだなー。と思いました。メンデルスゾーンも、CPEバッハも素晴らしい音楽です!!♪♪ 鳥の歌とラジミラ3年聴きました。有難うございました!!

(金本さんの)お話はユーモアがありおもしろい。オーケストラのオーディションの話は興味深いですね。どの世界も厳しいですね(当然かな?)ピアノの佐竹さん、よかった。

京響の話、もっとしてほしい(音楽のよろこびが)今書きたいへんよろしい。高齢者はき…に、大きい声で…マイク、スピーカー使用で!!

演奏をお話もたっぷり聞けて楽しかったです。(入試でおもしろそうなオケなんだなと思って楽しみにしていました) C-バーハ、華があっていい曲だなと好きになりました。ソロだけでなく、トリオやクァルテットの会があってもいいなと思います。

とても良かったです。オーディションの話は、おもしろかったです。鳥のうた、すばらしかったです。ヴィオラも佐竹さんのピアノもよかった!?

オーディションの様子が興味深かったです。ショスタコーヴィッチの曲が課題曲定番になっていることを知りました。チェロのC-D原さんでも彼のヴィオラコンチェルトは見つけられないです。1年間の計画(日程と楽器)を教えて下さい。曲当てクイズをコンチェルトなどやの楽器名の時やっていただけるとうれしいです。

間近で聴く生のヴィオラの音は迫力がある。オーディションの話は興味深かった。

とても興味深くもあり面白かった。生演奏を近くで聴けてとてもよかった。

後半の演奏すばらしかったです。お話もわかりやすかったです。最後曲(鳥のうた)は私の大好きな曲です。感激です。ありがとうございます。

オーケストラの採用試験のお話は、特に興味深く聞かせていただきました。ねずかり分で音楽に差が分かれる、厳しい世界でもあるなと思いました。CDとかでも、心に残る演奏と、つまり何度も聴きたい演奏とそうでないものがある事を思うからです。クリスチアンバーハのコンチェルトはいくつかの演奏の中でも思いでほどの感動ほどに。

日常では聞けない事務的な話が興味深かったです。金額的にお話が楽しかったです。"ソドレミ"の話も、Song of birds, クリスチャンバーハがなつかしかったです。

プロの演奏が我、間近に聴け、ぜいたくな気分になり、とてもよかったです。楽団のウラ話などでも、どんどん今後紹介してほしいです。

お話はとても楽しく、これから音楽をきくときに、手に汗握る気持になるでしょう。"鳥の歌"は特に待った曲、すばらしい、鳥肌になってきくことができました。

鳥の歌の最後のピアノの音が消え、1秒2秒…の静寂…無音、それでいつまでも、ゆったりとした大きな包容…何故か深い思いが、暖かく胸を満たしました。何かが、こみあげました。演奏者と、ともに私たちも音楽を創った…そんな思いも、感じ取りましょうか…。ちょっと一言だけ

ト音記号とヘ音記号は知っていましたが、ハ音記号は、はじめて知りました。前半のお話、とっても勉強になりました。後半で、今年は曲を(ソナタ)を全部弾いて下さり、とても良かったと思います。